



認められる その2

先週、児童・生徒の学習の様子を見学したいと教育長を始めとする教育委員会の方8名が来校されました。児童・生徒は、教員に促されなくとも自ら挨拶をしていました。また、教室に入ると、「頑張っている様子を見てください。」と言わんばかりにいつも以上に頑張って学習に取り組んでいた児童・生徒が多く見られました。

普段と違う雰囲気緊張もあったかと思いますが、頑張る姿を見て欲しい、認められたいという気持ちが大きかったと、私は思いました。成長していく中で、親・先生・友達に認められたい、働くようになると、社会に認められたいと、成長とともに認められたい範囲も大きくなっていきます。自己肯定感も高まってきます。認められたいという気持ちは、働く喜び、生きる喜びにつながるとても大切なものです。

今年度は、文部科学省の方、教育委員会の方と見学者も多いですが、児童・生徒の良い学習の機会としていきたいと考えています。(山賀)

